

初期診療・救急科

■ 救急研修プログラムの特徴

- 常に救急専門医が救急外来・病棟に常駐し、全ての救急受診患者さんの診療に参加しており、**専門医による指導**の下で救急医療の研修を行うことができます。
- スタッフには救急医はもちろんのこと、外科医(Acute Care Surgeon)・集中治療医・麻酔科医・循環器内科医・消化器内科医・神経内科医など、多彩な経歴の専門医が揃っており、**総合的な研修**を行うことができます。
- **救命救急センターでの院外研修**が可能となっています。

【 特別プログラム：救命救急センターでの院外研修 】

Aプログラム2年次研修医の先生を対象に、**国立病院機構 京都医療センター 救命救急センターでの院外研修（2週間）プログラム**を用意しています。

(<http://www.hosp.go.jp/~kyotolan/html/guide/medicalinfo/criticalcare/main.html>)

■ 診療科の体制

教授 1 名、講師 2 名、助教 9 名、
医員 2 名、修練医 4 名、大学院生 5 名

【専門医等】

救急科 15名、集中治療 4名、熱傷 1名、外科 3名、麻酔科 3名

内科認定・総合 7名、消化器病 1名、神経内科 1名、呼吸器内科 1名 循環器内科1名
心臓血管外科 1名、消化器内視鏡 1名、感染症 1名、IVR 1名、ICD 3名

■ 診療科の主な症例と症例数（またはベッド数）

	総患者数	救急搬送数	延べ入院患者数
2014 年	8,043	2,546	1,015
2015 年	10,073	3,699	2,137
2016 年	11,043	4,322	3,493
2017 年	11,929	5,023	4,745
2018 年	12,408	5,324	4,773
2019 年	13,758	6,097	4,532

救急症例数

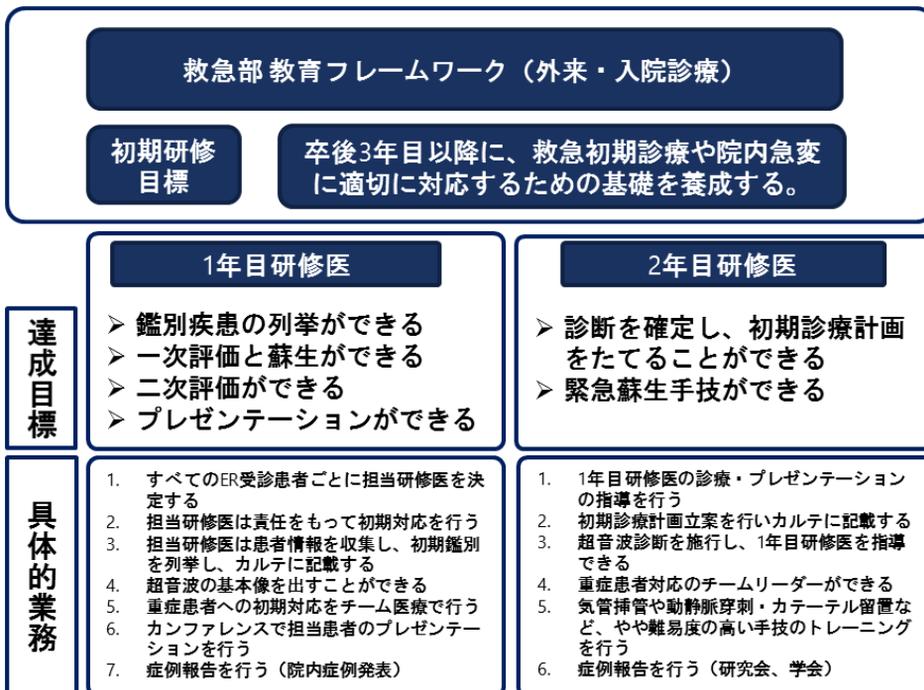


【病床】

急性期病床 13床、ES-ICU 2床（初期診療・救急科専有）
 その他、混合病床としてICU 16床・CCU 8床

■ フレームワーク

1年次研修・2年次研修ごとに「屋根瓦方式」のフレームワークを作成し、具体的な研修目標を設定することにより、短期間の研修でも最大限の研修成果が得られるようにしています。



○見学申込・問い合わせ先
 柚木 知之（講師・医局長）
 TEL075-751-3126
tyunoki@kuhp.kyoto-u.ac.jp